

PICK UP!!

## お 職員の推し本



### ネコは(ほぼ)液体である 堀部 円 / KADOKAWA

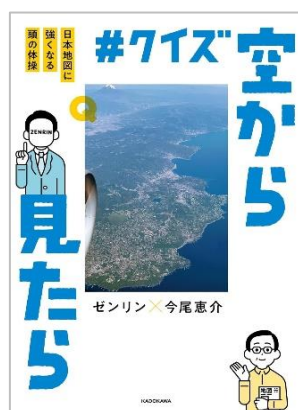
猫と暮らしたことの無い人には「ちょっと何言ってるかわからないんですけど?」となり、猫飼いは「ああ、確かにそうかも」となるタイトルのこの本。『猫は(ほぼ)液体』というのはユニークな研究に贈られる『イグ・ノーベル賞』をとった論文なんです。流動学という物理学で考えるとそうなるんですって。へー。この本はそんな『猫に関する論文を一般人にもわかりやすくざっくり解説した』本。その数なんと39本! ネコのごろごろ音の正体は? 段ボール箱が好きなのはなぜ? など、知っているようで知らないネコの生体に迫れちゃいます。猫を飼っている人も、これから飼おうとしている人もぜひ読んでほしい一冊です。

### #クイズ空から見たら

ゼンリン×今尾 恵介 / KADOKAWA

どこまでも続く巨大な市街地、ネオン輝く大都市の夜景、海と湖の間にある空港…。

この本は、地図制作で有名な出版社ゼンリンが公式X(旧ツイッター)上で、飛行機から見える景色で予想し、地図で答え合わせをするクイズ企画を書籍化したものです。全部で初級編から上級編まで53問あり、簡単に正解できるものもあれば全くわからないものもありましたが、楽しみながら読むことができました。また、景色を見ながら地図を思い出すので頭の体操にもなり、そしてちょっとした旅行気分にも浸れるのでオススメです♪



### ようこそ、ヒュナム洞書店へ ファン ボルム / 集英社



会社を辞めたヨンジュは、ソウル市内の住宅街に「ヒュナム洞書店」を立ちあげました。悩みを抱えた人々が出会い、集い、ふたたび前を向いて歩いていく物語です。書店でありながら、バリスタが珈琲をいれてくれ、作家さんのトークイベントや読書会を開催するなど、本が人と人をつなぐ役割を担っている場所はとても素敵だなあと思いました。

ヒュナム洞の「ヒュ」は「休」という字で、休みながら自分らしく生きていくことを教えてくれる小説です。冬のあたたかい部屋で、ゆっくりと読んでほしい一冊です。

